

道上 Times

2022年(令和4年)6月28日

めざす学校像：すべての子どもは「伸び」の真只中！その道上



担当：校長 桑田 貴子

子どものつぶやきから伝わってくること

毎朝、登校指導をしていると、子どもたちのいろいろな声が聞こえてきます。表情や仕草から一人一人の成長を感じることもあります。

先週の子どもの声の中から、心に残ったものをご紹介します。

C:子ども， T:校長

先生と子どもたちとのつながりが伝わります。温かい学級の姿、学校ならではの楽しさが見えます。

C:今週は楽しいことがいっぱいある。

T:そう、いいね。どんなことがあるの？

C:(指折りながら)

先生の誕生日。プール。社会見学。

T:本当、いいこといっぱい。先生のお誕生日をみんなでお祝いしたの？

C:うん。みんなで手紙を書いて渡した。

T:先生、喜ばれたでしょう。どう言われてた？

C:「ありがとう。いつの間に書いたん？」って、びっくりした。

T:わあ、よかったね。

C:うん!!

(4年生)

朝から蒸し暑い日のこと。こんな声が聞こえてきました。(1年生)

C1:暑~い。夏、嫌~い。

C2:わたしは夏が好き。アイス食べられるから。

C1:アイスは溶けるじゃん。

C2:いいの、いいの。

かき氷とかいっぱい食べられるし。

C1:ふうん。そっかあ。夏かあ。

自分の考えを持ち、理由を付けて説明できる子。自分の考えと異なる他者の考えを受け入れる子。どちらも素敵です。

一冊の教科書を手に持って登校している子どもがいました。(6年生)

T:理科の教科書？

C:はい。4年生の時のです。

T:いいね。学校で読むの？

C:(うなずいて)

懐かしいなあと思って。

自分が興味を持ったことについて、学年を越えて調べ、学びを深める。教科書を読み返していると、その後の学びと結びつけながら「なるほど!」と納得したり、新たな発見をしたりすることがあるかもしれませんね。